

# 問

令和8年6月22日、  
23日、24日に開会した  
本会議で代表・一般質問  
を行いました。

## 代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の7名の議員が一般質問を行いました。

以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

## 足立区議会公明党

### 若者の夢を応援し、誰一人取り残さない足立区に!!

#### 公明党 さいの 智恵子 議員



##### 若者の夢と希望を応援する社会へ

【問】 本年4月から「足立区子ども・若者計画」が本格始動した。若者を孤立や犯罪から守り、夢を後押しすることへの区長の決意を伺う。

【区長】 区長就任以来、特に子ども・若者分野の施策充実には力を尽くしてきたと自負している。今後も、課題である居場所づくりや体験・経験の機会充実をポイントとして、施策・事業を強力に推進していく所存である。

##### 東京アプリ活用でSDGs推進を

【問】 真に持続可能な社会の実現には、区民一人ひとりの主体的な意識と行動の変容が不可欠である。「動機付けとして、ポイント付与等のインセンティブが有効である」と昨年の決算特別委員会で質問した際、区は「東京アプリを活用した実施を検討していく」と答弁した。現在までの進捗について伺う。

##### 【政策経営】 決算特別委員会以降、東京アプリに関する情報収集や活用方法の検討を進めてきた。今年度から区市町村の独自事業に東京ポイントの付与が可能となったことを踏まえ、「地域活動や社会貢献活動への参加のきっかけにする」「区の課題解決や多世代が交流できるようなスキームを構築する」といった2つの活用方法を策定した。

来年度からの本格的な事業展開に向け、本年6月に全庁向けの説明会を開催すると共に、今年度中から複数のモデル事業を展開できないか検討している。

【問】 梅田八丁目複合施設は、図書館を核としながら、NPO支援センターの移設も予定されており、「協創のインフラ」として重要な役割が期待されている。区は、建設費の高騰等を理由に建設工法の見直しやコスト削減等の検討を行っているが、十分な検討を踏まえつつ、地域の要望に応えるため早期完成を目指すべきと考えるがどうか。

【地域】 現在、第三者による設計の妥当性を検討するための準備をしており、今後は検証結果を踏まえ方針を示すと共に議会へ相談していく。引き続き地域の期待に応えるため、庁内連携を図り早期完成を目指していく。

【子どもの防災意識向上へ後押しを】

【問】 中学生消防隊で活躍した生徒をはじめ、若者が専門的な知識を身に付け、自信を持って地域に貢献できるよう、高校生世代を対象とした「防災士」資格取得費用の助成制度を創設すべきと考えるがどうか。

【危機管理】 現行の助成要綱では「区内に住所を有する満18歳以上の者」を対象としているが、

来年度からの実施に向け、今年度中に区内高等学校や防災士研修センターと意見交換を行い、新たな資格取得費用の助成制度を企画していく。



##### 高齢者の積極的な外出を支援せよ

【問】 東京都シルバーパスは、住民税非課税世帯等は千円、それ以外の方は1万2千円の負担金となっているが、当区における1万2千円の負担対象者は何人いるのか伺う。

また、近隣自治体では独自の負担軽減措置を実施する動きが広がっているが、当区においても早急に導入すべきではないか。

【高齢者】 区における1万2千円の負担対象者は約3万1千人であり、高齢者の外出支援の

### 区内商・工・農業へ支援を 扇周辺地区で新たな交通を

#### 公明党 小泉 ひろし 議員



##### 足立の産業を未来へ繋ぐために

【問】 区は、区内中小企業の事業承継等に係る設備投資等に対し対象経費の2分の1を助成している。昨年度の当初予算における助成件数は4件であったが、潜在的な需要があることから、

今後は補助率の引き上げ等、大胆な取り組みが必要ではないか。

【産業経済】 昨年度と今年度の

一助となることから、区独自の軽減措置の必要性を鑑み、来年度から先行自治体と同等の補助の実施に向けて検討していく。

【問】 本年4月1日時点における当区の待機児童数は106人となった。今後、待機児童解消に向けてどのような対策を検討しているのか伺う。

また、区では保育ママが地域の子育て家庭を支えているが、令和10年には約15%の保育ママが定年を迎えると見込まれており、低年齢児童の受け皿の大幅な減少が懸念されている。区は、新たな受け皿についてどのような検討しているのか伺う。

【教育長】 待機児童の多くを占める1歳児を中心に、0歳児、2歳児を含めた対策を検討している。保育ママ定年による受け皿の減少分を含め、小規模保育室や1歳児の緊急保育室を開設する待機児童解消計画を本年9月を目途に策定し、待機児童解消に向け全力で挑む覚悟である。

##### 扇周辺地区の利便性向上へ

【問】 区は、「はるかぜ10号」が廃路線となった扇周辺地区において、今年度中にデマンド型タクシの実証実験開始を目指している。

①運行事業者や乗降スポットの選定及びスケジュールを伺う。  
②実証実験開始に向け速やかに住民へ周知すると共に、機運醸成へ新たな交通の愛称を募集する等、取り組むべきではないか。



### 若者支援の更なる充実を！ 竹の塚を区の北の玄関口に

#### 公明党 くぼた 美幸 議員



##### 若者の声を施策へ反映せよ！

【問】 若者支援を進める上では、行政側や支援機関の視点だけではなく、実際に支援を利用した若者の声を施策に反映しながらブラッシュアップしていくことが重要と考えるがどうか。

【未来】 当事者である若者の意見を聴き、施策に反映していくことは、こども基本法に定められており、本年4月にスタートした区の子ども・若者計画にも明記している。利用者アンケー

③東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金の活用も検討すべきではないか。

【交通対策】 ①運行地域内にあるタクシー事業所から概ね運行についても概ね選定を終え、警視庁協議を開始した。今年度冬頃から実証実験を開始できるよう、関係機関との協議を進めていく。  
②秋頃から住民向けに事業周知を行う予定である。愛称の募集については、地域協議会の意向を確認しながら協議していく。

ト等を通じて、若者の意見を聴く機会を積極的に設けていく。

【問】 竹の塚地域学習センターは老朽化が顕著であり、センター機能の一部を竹ノ塚駅東口駅前に移転すべきと考える。地域に根差した「まちの顔」となる施設として整備すべきではないか。

【都市建設】 竹の塚エリアにおける公共施設施設については、東口駅前市街地再開発事業により建築される建物の一部への移